

実習日：平成 28 年第Ⅱ期 11 月 9 日

実習先：西田病院

大学名・学年：九州保健福祉大学 5 年

氏名：木下由美子

今回ゆふみ病院で緩和ケア・ホスピスとはどのようなものなのか勉強させていただきました。ゆふみ病院へ見学に行くまでの緩和ケア・ホスピスのイメージは、終末期の方のケアをするというイメージでした。医療従事者として終末期の方に何をすることができるのだろうと思いながら、実習に臨みました。しかし痛み止めの投与方法にしても、患者さんにとってより負担の少ない皮下注を選択し、携帯型の皮下注を使用する事で点滴台を使用する必要が無く、自宅で生活しているような感覚で毎日を過ごす事ができるように、患者さんの事を思って行動しようと思った時、できることはたくさんあるのだと感じました。

ゆふみ病院には、患者さんに対してどのようなサービスを提供したら居心地が良くなるか？という優しさがつまっているように思いました。四季をより感じられる様に、庭には落葉樹を植えてあり、ベッドのままでも庭へ出て、季節の移ろいを感じる事ができます。私の想像していた典型的な病室の姿は無く、自宅の様な暖かい場所がありました。

将来薬剤師になった時、ただ患者さんに薬剤の説明・渡すだけでなく、心のケアまでできる様な薬剤師を目指すべきだと感じました。